

師走目前仕込み本格化



いつものと違う今年
の秋、でもいつもと
同じ飯寿司の美味し
い季節は確実に到来。

今年も、当社中井英
策商店では、秋風が
吹き始めたと同時に、
当社の飯寿司製品各
種の仕込みが本格
的に始まった。

今年、当社中井英
策商店では、秋風が
吹き始めたと同時に、
当社の飯寿司製品各
種の仕込みが本格
的に始まった。

今年、当社中井英
策商店では、秋風が
吹き始めたと同時に、
当社の飯寿司製品各
種の仕込みが本格
的に始まった。

今年、当社中井英
策商店では、秋風が
吹き始めたと同時に、
当社の飯寿司製品各
種の仕込みが本格
的に始まった。

今年、当社中井英
策商店では、秋風が
吹き始めたと同時に、
当社の飯寿司製品各
種の仕込みが本格
的に始まった。

今年も5万樽製造へ TV取材も始まる

きんきん新聞

きんきん新聞
第37号
発行：(株)中井
英策商店

150万樽販売来月達成へ きんきんずし発売42年で

今年、当社中井英
策商店では、秋風が
吹き始めたと同時に、
当社の飯寿司製品各
種の仕込みが本格
的に始まった。



中井商店及川社長の 思い出鉄道旅日記⑪

鉄道大好きの中井英策商店社長の
及川が連載でお届け
しているぶらり鉄道
旅、思い出旅日記
十一回目となった
今回は、鉄道ファン
なら誰でも「人生で
一度は乗ってみたい」
と憧れる、秋田県北
部から青森県津軽地
方をひた走るJR五
能線をぶらり旅して
みた。



弘前市郊外川部駅を結ぶ総延長一
四七・二キロの単線で、全線非電
化区間で、ディーゼル車での運航
路線。
私にとっても、ほぼ二十年前の
乗車となった。
真夏の平日、秋田県北部能代駅
から今回はスタート、能代駅に着
くと目についたのが、駅前看板の
「バスケットボール」の文字。こ
こ能代はバスケットボールの強い
街だったんだと改めて認識した。
そして、能代駅のプラットフォーム
には、これまたバスケットのゴー
ルポストが...。日本全国駅
のプラットフォームにバスケットゴー
ルがある駅は正に「三だけだろ
う」と感じ、そしてこの編成の弘
前行き、「ワンマン普通列車に乗り
込んだ。
北能代駅を抜けると、線路両側
には水田が広がって来た。
そして向かいには世界自
然遺産で知られる白神山
地の山並みが遠くに見える。
能代を出発して4番目
の駅、沢田駅を過ぎると
向かって左手に大きな発
電用風車が見えて来た。
そしてその向こうには日
本海。いよいよ列車はお
目当ての海岸沿いルート
へ。



駅のホームにバスケットコートが(能代駅)



車窓から眺める海岸線の絶景



駅の前には景勝地の千畳敷

さて、列車は十二湖駅、青森県北
津軽にある十二湖は有名だが、十
二湖が存在することを初めてこの
時知った。
相変わらず列車は、左側の海岸
線をゆくりと蛇行しながら走る。
やがて深浦駅に到着、古くからの
漁港で、漁業の町らしく水産加工
場のおばちゃんらしき女性が「ニ
ドッ」と乗り込んで来た。静かた
た車内は、「ニドッ」と急な賑やかにな
った。
そして、列車は今回一番のお目
当て、観光スポットでも有名な千
畳敷駅に停車。駅の前が崖上
の岩が海岸にせり出した珍しい景
色を作り出している千畳敷が目の
前に広がった。思わず、カメラの
シャッターを切った。すると、他
にもシャッターを切る音が...。
そんな一瞬を楽しんだ列車は、伝
統ある港町、鰺ヶ沢駅
に到着、ここで車掌さ
んが乗車し、「ワンマン
列車ではなくなった。
鰺ヶ沢駅を出ると、よ
うやく海岸線から内陸
に入る青森県津軽地方
を横断するルートに入っ
た。
間もなく、右手に津
軽のシンボル岩手山の
雄姿、そしてリンゴ畑

が広がって来た。
水田とリンゴ畑を横目に走った
列車は、やがて五所川原駅に到着
した。ここは、北津軽を走る私鉄
ストリープ列車で有名な津軽鉄道の
起点駅で、この時も一両編成の列
車が出発を待っていた。鉄道ファ
ンの私としても「ローカル鉄道、て
いなか」と何とも言いえない哀愁
が漂ってきた。
やがて列車は、奥羽本線と合流
する川部駅に到着、進行方向が逆
となって終着駅の弘前へ...。
気が付くと出発から、四時間が過
ぎていた。
憧れの五能線、乗り込んでき、
正に車窓からの多彩な絶景、ファ
ンを魅了する路線であることを実
際に体感できた旅だった。

世界遺産白神山地の山々も見られる

